

お茶大での4ヶ月

釜山外国語大学

チョ・フィジュ

韓国の釜山外国語大学から1年間お茶の水女子大学に交換学生として来たチョ・フィジュと申します。元々、2020年4月に来る予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で2022年4月に来日し、授業を受けています。

休学中と前学期には日本語の授業を受けなかったという2つの理由で、日本語を2年間使っていなかったです。なので、今回は留学生対象の授業だけを受けながら、一学期を過ごしました。ほとんどの授業が私と同じ留学生だけが受ける授業ですが、日本語事情練習4Aは日本人と一緒に受ける授業でした。この授業はアメリカの社会問題についてディスカッションする授業です。受けた全ての授業が役に立ちましたが、私はこの授業が一番印象に残っています。日本人学生が10分という短い間にわかりやすい例を挙げながらクオリティーが高いの答えができるのを見てお茶大の学生たちは社会の問題に関する関心が高くその問題についてちゃんと自分の考えがあることを感じました。それと同時に社会問題に無知な私が恥ずかしくなりました。私は今まで、社会問題は難しい問題だからといいながら避けて来ました。でも、この授業を受けてから社会問題を解決するためには、難しい問題だから避けるのではなく、その問題についてちゃんと話し合い、お互いの意見を聞くことが大事だと思い、社会問題にもっと関心を持つようになりました。

また、私は今学期留学生向けの授業だけを受けていたので、日本人の友達を作る機会があまりないのが少し残念でした。それで東京大学のゴルフインカレサークルに入りました。東大、お茶大、聖心大、など色々な大学の学生がいるのでお茶大はもちろん他の大学の友達もできました。ゴルフだけでなく、ヨミウリランドに行って脱出ゲームをしたり、バーベキューパーティーなどいろいろなイベントがあって楽しかったです。そこで仲良くなった友達とご飯を食べに行ったり遊びに行ったりしました。夏休みには浴衣を着て納涼船に乗りに行ったり合宿に行く予定です。日本

人の友達と仲良くなれる機会があまりなかったのでサークルに入ってよかったと思います。

最後に1学期の間、たくさん手伝ってもらった方々に感謝の気持ちを伝えたいと思います。まず、指導教官の坂元先生、最初研究室に伺った時、韓国語で話しかけてくださったり、授業でのインタビューを受けてくださったり、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。また、国際課大野さん、入国手続きや私が日本に慣れるために色々手伝ってくださってありがとうございました。それから、寮の管理人の方、寮の生活について、たくさん支援をいただき、ありがとうございました。最後に、今学期受けた授業担当の先生方に、心から感謝の気持ちを申し上げます。

